

.....

ん？どうした…？

…提督のそれ…まだ固いじゃない…

ああ…何だ？まだ訓練に耐えられると
そう言いたいのか？

…ん、そ、そうよ、そんな程度じゃ…

私の訓練になって…ない…わ。

はは、いい心がけだが、

はやる気持ちだけじゃあ

身に付くものも付かないぞ

まだまだ訓練は続くんだからな！



…しかしすごいな天津風は、
こんなに優秀だとは思っていなかったぞ。

…で、提督もその…いい風だったわ。
次も…よろしく。

あ、ああ、任せておきなさい！
(や、やばいこの娘名器だぞこれ…)



陽炎型駆逐艦九番艦、天津風。

な、何よ改まって…？

君にはこれから、特殊な期間室強化訓練を…

はいはい分かってるから…！

もう何回も聞いてるからそれ！

…さ、さっさとやったら？

…本当か？訓練は厳しいぞー？

い、いいから早くしなさいよっ！



よし、それでは機関室点検棒の挿入を開始する。

…な、何よ…ただの張った性器でしょそれ…(ポソ)

んん？何だ？ちょっと怖くなってきたか？

そ、そんなわけ無い！バカな事言わないで！



…っっ！あっ！

ん、これはまた随分と狭い入口だな、
拡張性に難ありか…？

…バカあ！大事な所なんだから！

機密性が高いのは当たり前…ひっ！

ああそうだなーこんなにぬるぬる

絡みついてくるのは

きっと、優秀な証拠なんだなー

そ、そうよ…うあっ！



んっ!ふっ!提督っ!そこ深っ…!!

おお、凄い締まるのに中々奥は
しっかり出来ているんじゃないか?

なかなか良い感じだぞ天津風!

ううっ、奥そんなにコリコリして…あっ!

うむ、だが耐久性にはやはり難があるのかな?

感度が良すぎなんじゃないか…?

う、うるひゃいっ!

こ、この程度…っ!あうっ!



あっ、あううっ！！

お、良いぞ天津風！まさか根本まで
点検棒を入れられるとは…！

や、やめ、だから奥そんなっあっ！

つからいれってばあ…！

きついのにここまでの潤滑性とは

やはり優秀な駆逐艦は機関室も

極上なのかね…？

あっ、だめ…もっ入らなっ！ひうっ！



よーしそれでは耐久訓練だな、
全体で感じ取ってなおかつ耐えるんだぞ
え、あっ、何？何このっ…
中が引っ張られてく感じ…あっ！
お、おお、循環性が高いとはいえ
この密度だと張り付いてくるなー
ゆっくり動いてやるから
よーく感じるんだぞー
ひっ！ちよ、ちょっと…あっ！！



あ、だめよこれえ…何か変っ！

なかなかいい筋だぞ天津風一、
その調子で感度を高めていくんだ、
ゆっくり奥まで出し入れするからな一

あ、や、また入って…！だめ
ていとくだめよこれ、あっ！



あ、あっ！奥そんな突き上げちゃっ！？
よーしいいペースだぞ天津風！
こんなに優秀な機関室はなかなか無いぞ！
あ、当たり前、っしょ！…あ、だめ！
ていとっ、もう耐えられなっ…っっ！

…ん、おお、イッたのかな？
実は俺もそろそろ限界…っ！出すぞっ！

んうっ！お腹に熱いの来てる…っ！




…あ、ドクドクッて脈打ってる…

おお、凄いぞ天津風、お前が頑張った
おかげで点検棒からまだ出てるぞ。

…そ、そんなの当たり前だわ…あ

私の機関室だもの…はあっ…





いいか秋月、今回は特殊機関室訓練および
姿勢制御訓練も兼ねている。

は、はいっ！…ところで提督、その
もしかして姿勢制御というのは…

察しが良いな秋月！

そうだ、この足を浮かせた状態のまま
機関室強化訓練を執り行う…！

…！！

ん、やああ…は、入ってきました司令!

こ、このまま姿勢を維持するなんて、

む、無茶ではありまs…つかあ?!

そうだ無茶だ!だがこの試練を克服した艦娘は

どんな悪天候であっても任務を全うできると

俺は信じている…!

…!!



あっあんっ！司令のが中で暴れてっ
ゴリゴリ響いてきでますっ！！
そうだ、良いぞ秋月！俺を信じて
姿勢を維持することに集中するのだ！
し、司令っ！ひんっ！
そのっ、この姿勢で緊張してるとっ
あのっ…！！
ん…？



はあっ…だ、ダメです司令っ！
ど、どうか秋月の粗相をお許しをっ！
ふぬっ!? いきなり締め付けが強くっ！
あ、ああ、もうダメです！秋月、腰が、
腰がもう砕けてしまいそうで…!!
よ、よし!もう少しだ!もう少しだけ耐えるんだ!





あっあっ！ 司令！私イキますっ！
先にイッてしまいます…！！
も、もう耐えられませっ…！！
お、おう！よく頑張ったぞ秋月！
この直射を耐え切ったなら訓練終了だ！
は、はひっ、一緒にイッてください司令っ！
ひっ、あ、ふあああっ！！

…ふ、ふう…遂にやりきったな秋月…！
ふあいつ…ありがとうございました…！

さて、アドミラル・ヒッパー級3番艦
プリンツ・オイゲン君。

は、はいっ

君にはこれから特殊な期間室強化訓練を
行うが…よろしいかな？

え、あ、これ…訓練なのですか？

いきなり連れ込まれたのでびっくりしちゃった…

そうだとも！この特殊な点検棒で
君の期間室の強度を高める訓練だ。

な、なるほど…



わっ! な、何っ!?

て、提督、こ、これっ…?

これが今回の訓練で使用する点検棒だ、
今からこれを君の機関室内に挿入する。

ええっ! で、でもそれって…

…こ、これはあくまで訓練である、だが
嫌ならばここで終わらせてもいいぞ?

え、あ、ん…うーん…



.....

わ、わかりました…やります…！
お、お手柔らかに…お願い、ね？

…う、うむ！それではいくぞ！



あ、はあっ、入ってきたあっ！
て、提督のお奥まで来てるっ…！
なかなか良い締め付けだぞオイゲン！
感度も良好、柔軟性も申し分ないな！
これは訓練のやり甲斐があるな！
あ、んんっ！すごっ！
中で擦れてビリビリきますっ…！！



うあっ、あんっ！
あっ、奥来てるっ、ひうっ！！
いいぞオイゲン！その調子だ！
全体で感じ取るんだ！
ひぎっ、あっ、だめえっ！
こんなっ、刺激強すぎてっ……！



てっ、提督っ！提督っ！
わ、私もうだめでひゅっ…！
耐えるんだオイゲン！
俺の点検棒を奥でしっかり
啜え込んでみせたまえっ！
やあっ、だめ、そんらっ！
奥突いちや、私っ…！！



はっ!あ、あああっ!
め、ダメッ、も、イク!イキまひゅっ!!
うぐっ…よ、よし!よく頑張った!
俺の点検棒も非常に満足しているぞ!
溢れるほど中に出てるのが分かるだろう?
…は、はい…提…督…
ふう…今後は時々この訓練を…ん?

スゥ…Gute Nacht…スゥ…

…なんと…
起きたらまた訓練してやるか…



…ん、う…んん？

…ああ、ようやくお目覚めか、提督。
こっちは随分勃起しているが、
意識とはあまり関係がないのか？

…な、日向…君？！

提督、最近夜中に妙な訓練と称して
艦娘たちと楽しんでいるようだが…

む…いや、それは…ふおおっ！

ん？ 少し締めすぎているか…？

…や、いや、それよりも日向君…





私もこういった事は久しぶりでな、
こうしてまったりと締め続けるのも
中々に良いものだ…

うおお…、な、なんだ、
中から吸い上げられるような
この刺激は…?!

…ふふ、君のイチモツは…ん、
既に私の膚のようだぞ…?

ぐ…ま、まさか日向くんは
床上手…だったのか…!

さあ、どうする提督…?
このまま情けなく私の中に
出しても構わないのだぞ…?



ぐ、言うじゃないか日向君…
だが…こ、こうしたらどうだ…?
…っ!? そ、そうか…小刻みに
奥を突いて刺激を…ふあっ!
は、はは、効果が出ているな!
こ、この程度問題ない…
ぐっ!…ふう…ふう…
可愛い胸が震えているぞ?
どうやら奥が急所みたいだな…
…そ、そんなことは…あっ!
どうかな?感じてプルプル震えて
いるように見えるが…実は…
そ、そろそろ限界なんじゃないのか?
…くっ、そ、それは君もだろう?
う…さすが、バレてるな…



うあっ! な、何…っ?! ふっ、ううっ!!

は、はは! まだまだだ…!

…うくっ! そんなに奥ばかり…っ!

カクカクふるえてるじゃないか、

我慢は体に毒だぞ日向君…?

汗が素晴らしく健康的で

色っぽくていいじゃ…

…ん、んふっ! うっ!!

うっ! ちょ、待っ…!!

まだこんなに締め付けっ…

…んっ、あ…ああっ!!!!

…うぐっ…し、しまっ…!出るっ!!
ひうっ!奥に精子来て…っ!?
ふあっ!あっ!ひうっ…!!
ふおおっ!根っこからどんどん
搾り取られていく様な…!?
な、何という事だ…!!
あっ…ふうっ!! いいっ
良いぞ提督…! 奥に熱いのが
満ちて…溶けてしま…ああっ!!
…うぐ、ま、また締め付けが…!?
日向君、なんて強さだ…!!

ひうっ…きやうっ!!
…うぐっ! ん…?!
(今ずいぶんと可愛い声が…)

はぐっ…くうう…ん…んっ!!!
(な、なんだこの…かわいいの…)



よし、最上型重巡洋艦熊野、これより特殊な機関室強化訓練を執り行うぞ。

…提督？ なんですかその珍妙な訓練名は？

前もって説明している通りだな、俺の点検棒を使って…

それは存じておりましたよ？ けれどこれ…普通に性行い

と、とにかくだな！問題が無いようなら始めるぞ！

…ま、まあ私は構いませんけれど…



…それにしても熊野、意外に落ち着いてるじゃないか？
と、当然ですわ！ 私、レディーとして何事にも
たしなむ程度の知識を持ちあわせておりますもの！
…なるほどなー（にとしては肌を撫でるだけでビクビクしてるなあ）



…では訓練を開始するぞ、熊野！
わ、分かっていますわ…どうぞ…っひゃあっ！！
ん？慣れていると言う割に…随分ときつ…
きき、気のせ…あうっ！！
まだ先が入った程度なのに、凄う感度だなー
レ、レディーにはこの程度ひっ、も、問題ないですわ！





うくっ、うっ! 提督…っ!!
随分ほぐれてきたじゃないか熊野、
感度が良すぎるから耐久性はどうかと思ったが、
中々やるじゃないか…!
んっ、と、当然でしょよ…あんっ!!
ふ、んふっ! うっ…!!



ん、んんっ!うくっ!!
いいぞ熊野!中々粘り強く締め付けてくれるじゃないか
俺の方もそろそろ限界だし、訓練も仕上げにかかるぞ!
んふっ、うっ…んんっ!!(ロクロク)
(あー、何度か締め付けがきつくなってたけど
これイツでたんじゃないか…?)



あっ! ああっ!! わひゃくしの中に熱いのらっ!!
今回の訓練を頑張ったご褒美だぞ熊野!
これっ、いい、いいでひゅわっ...!
...こんな感覚っ、初めてれしてよっ...!!

ふうっ…うっ…

…良い訓練だったぞ熊野！これならどんな状況においても
問題なく対応できるだろう。

…こ、この程度…ふう、私にかかれば…んっ





…提督？ あの…
ん、どうした…？
…、実は…その、言わなくても分かりますわよね…？
ん…分からないな、もう一度訓練したら分かるか？
…、そう、ですわね…ええ、
次はもっと、良い成果を出して差上げますわ…

ふああっ!中、中に出てましゅ提督さっ…!! これっ!!
こ、こんなに出されたら…溢れちゃっ!! ああっ!!!!
うっ、いいぞ名取君! ここまで耐えられる機関室は
そう滅多にあるものじゃな…ふぐっ!
提督さっ…へんれすっ!! 私ずっと気持ちいいのっ…ひあっ!!



よし名取君っ！これはご褒美だ！！
あっ、提督さんのっ…すごいですっ！
噴水みたいにびゅっびゅっ、てえ…////
そんなの見せられちゃったら私、またっ…



ふあっ!あっ!! また提督さんのがっ!! ああっ!
良いぞ名取君、君の期間室の強度は素晴らしい!
奥を突く度に溢れて止まらないぞ…!!
あっ!てーとっ、提督さんっ!!
もっと…もっと、いっぱいわたひの…
きかんしちゅ、突いてくだひやいっ!!!!



て、提督さん…こんな時間にお呼び出しとは…それにこのお布団は…？

うむ、長良型3番艦の名取君、君にはこれから特殊な機関室訓練を受けてもらいたいのだ。

訓練…ですか？ あ、あのこれ…まさか噂の…？

ん？…特殊訓練は部外秘だったんだが…まあ声でバレるよなあ…

…提督さん？



それでどうかな…？ 名取君、訓練を受ける気はあるかな？
え、ひゃっ！…で、提督さん?! あ、ああ、あし…っ
望まないようであれば、ここでやめる事になる、どうだ？
… …っ、えと、具体的には…どういった訓練を…？
あ、ああ、具体的に言うとだな…俺の股間の点検棒で、
お前の股間の機関室の強度や耐久性・感度などを訓練する
といった内容なのだが…聞いているか、名取君？

……////



今まで受けてくれた艦娘たちは皆相応の成果を上げてくれているし、
それにこれは一般には公開していない特殊訓練だ。

…そ、その…私を選んでくださった…？ という事でしょうか？

ああ、そういう事だ。

…わ、分かりました…や、優しくして下さいね…？

…ん、う、おう。



お、おお、履いでな…名取君は意外と贅沢な体をしているのだな…!

…は、恥ずかし…です!

恥じることはないぞ名取君、これだけのものを持っているなら
この訓練の成果も期待できるというものだ…!

あ、ううっ…!!!!



それに見たまえ！君の体の素晴らしさに俺の点検棒もやる気十分だ。
えっ?! あ、ででで、提督さん?! こ、これ?!
驚くのはまだ早いぞ名取君、これから君の機関室に
この点検棒を挿入する…!
あ、あのっ、提督さん…! わた、私まだ心の準備…



あ、ああっ…は、入ってきましたあっ！ く、苦しっ！
…いいぞ名取君！入口から機密性抜群じゃないか、
しかも中はしっかりと潤滑していて素晴らしい…！
ん、ううっ 提督さんのが私の中に…っ！！



良いぞ名取君、全体でしっかり啜え込んで感じるんだ！
あっ！ ああっ！！ そ、そんなに動かないでくらさっ…！！
まだ音を上げるには早いぞ！こうして全体的にしっかりと…
ん、お、まて名取君、そんなに強く締めると…！！
で、提督さっ、提督さんっ！！ わ、私…っ！！



あっ!!ふああっ!! ご、ごめんなさい…っ!!
ぐ、なんて刺激だ…うぐっ!
はあ…はあ…で、提督さんのが、私の中に溢れて…
…あ、ふあ…ビリビリがまだ…!



まだ、またイキまふっ…！ おああっ！！
うぐ、いいぞ名取君！ここまでの機関室はそうそう…うっ！！
なかつ、お腹の中が提督さんのでいっばひにっ…
凄いぞ名取君、訓練の成果は上々だ…！

あ、ひ、ありがとうございまひゅっ…あ、ああっ…!!!



あ、ああっ！ 私もうっ…イきまふっ！！
…っ！ よし、頑張ったご褒美だ！しっかり見ておけよ！
え、あっ、そんな、抜いちゃ？！ あっ！！
ふああ…提督さんのから、白いのがいっぱい…！



しゅ、すごいです提督さん…！　こんなに…！！
うぐっ、これも名取君の機関室が優秀だったからだ！
わ、わああ…ま、まだ出て…すごいニオイで…ああっ！！！！
…ふう、これからもこの特殊訓練を受けられるかな、名取君？
…あ、わ、私で宜しければ…喜んで…！！！！

